

はと みね  
鳩の峯

No.14  
2009  
12.15

平成21年12月15日



飾り付け風景

主な内容

賑わい創出事業	2P
青空市	2P
体育祭	3P
グラウンドゴルフ大会	3P
男性料理教室	3P
消防団より一言	3P
白川氏が高浜へ	4P
歴史散策	4P
寄稿「師走」	4P
編集後記	4P

高浜公民館イルミネーション

11月29日（日）午後1時より高浜公民館付近にイルミネーション（電飾4,000球）の飾り付けを行いました。イルミネーションは来年1月6日まで、点灯時間は午後5時から午後10時までとなっています。

# 「賑わい創出事業」動き出す。



<http://hp.amakusa-web.jp/a0591/MyHp/Pub/>

**高浜地区振興会ホームページ**  
 これまで、高浜地区振興会は熊本県の支援を受け、会議やワークショップを開催して高浜の活性化について話し合い、出来ることから取り組むことを合議しました。まず第一歩として青空市の小屋づくりやホームページの作成などを3つのプロジェクトを立ち上げました。  
 プロジェクトチーム1ではホームページを活用し、多く

の方々が高浜の魅力を外に発信するために、高浜の自然・歴史・文化に関する資料の収集と荒尾岳、十三仏などで写真撮影を行いました。立ち上がった高浜地区振興会ホームページは現在「天草WEBの駅」からアクセス出来ます。



プロジェクト2では青空市がいつでも開けるように小屋づくりを始めました。メンバーの皆さんや熊本県、建築士の協力と松原幸高さんの万全の準備で一日で完成しました。この小屋は青空市に積極的に活用されるとともに、地域の皆さんの交流の場とな



るよう今後も充実を図っていきます。なお小屋名の『高浜もちより市場』の看板はこのプロジェクトに当初からアドバイスを頂いています。神奈川大学工学部教授曾我部昌史先生から揮毫（きごう）いただきました。  
 プロジェクト3では明治40年夏「五足の靴」紀行文に「高浜の町は葡萄で掩はれ居る、家毎に棚がある、棚なき家は屋根に匍わす」と記された高浜ぶどうを広く復活させようと栽培方法について調査を行い、現在1株しか残って



いない葡萄の木を、来年1月に挿し木から増やしなが、将来的には高浜ワインづくりを検討しています。



高浜ぶどう



もちより市場の建設後、これまで毎月第一日曜毎に開催されていた青空市が毎週日曜毎に開催されることになりました。  
 地域の皆さんこそつて足をお運び下さい。

月一回から  
 毎週日曜開催へ

**青空市**

# 体育祭

## 西校ウエイト部披露

10月11日(体育の日)高浜地区体育祭が地域の皆さんが多数参加して行われました。今大会では、県総体と国体で活躍された西校ウエイトリフ

ティング部(野田先生、高原君、福原君、田原君、松本君)によるデモンストレーションが披露され会場は、歓声と拍手で盛り上がりました。

また、今大会より松江公民館長の寄付により優勝旗が新しくなりました。

※大会の成績  
 ★優勝 大庵、皿山(76点)  
 準優勝 元向、内峰(73点)  
 第3位 上河内、大野(68点)



## 第20回 グラウンドゴルフ大会 11月15日(日)

大会結果は次の通りです。

### 個人

1. 中田 政広  
(大庵C)(36打)
2. 本多舜未夫  
(白木C)(40打)
3. 山田 逸男  
(諏訪B)(43打)

### 団体

1. 白木C (309打)
2. 諏訪B (310打)
3. 大庵C (320打)

## 2年目の 男性料理教室 開催

### 男性料理 招待事業を終えて

田崎 茂子

今年も残り少なくなつた十一月二十九日、教室生の成果を味わっていたかどうか、七十才以上の一人暮らしの方々を招待して、食事が開催されました。教室の今年のテーマは、郷土料理。幼いころよく食



せんだごを力強くこねてます……

べた品である、魚入りちらし寿司とせんだご汁に挑戦しました。よく獲れていた魚は、鯛や鯖でありましたが、今が旬の鮭を使用しました。寿司を混ぜるのも、錦糸卵も男性が手際よく作りました。せんだごも男性の力で力強くこねる事ができ、一段とおいしく仕上がりました。

招待された方々が、口々に、惜しく、おいしかったと嬉しい顔をされた様子に、教室生は「作る喜び」を知り、幸福を感じた瞬間でした。

食後の歌と踊りの演芸は、笑いと拍手で盛り上がりました。今後、健康づくりの為に、男性の方々にも、料理に大いに興味を持って戴きたいと願います。

## 消防団より一言 火の用心のお願い

第三分団長 川崎 康憲

十二月も半ばを過ぎ、後二週間程で新年を迎えようとしています。年末に入り我々消防団も来年一月十日の消防出初式の練習、年末特別警戒と忙しくなつてまいります。地域住民の皆様方におかれましては、日頃の消防団活動に対する御理解と御協力、また各地区に根付いた自主防災組織活動により連携した火災防止に努めて頂き大変感謝申し上げます。さて、本格的な寒さを迎えるにあたり暖房器具等の使用も増えてきます。便利な反面使い方を誤つたり、ちよつとした油断が火災という惨事を引き起こす事になりかねません。建物火災、特に住宅火災に限れば、原因の上位はコンロ、タバコ、ストーブの三つです。どうか危険と隣り合わせという意識を持つて安全に使つて頂く様くれぐれもお願いいたします。最後になりましたが、十一月の消火器の詰め替え及び新規購入は大変お世話になりました。かなりの本数に上り、これも高い防火意識の表れかと思えます。本当に有難うございました。

## 高浜地区

(平成21年12月1日現在)

人口 1,494人

男 683人

女 811人

世帯数 697戸

高齢化率(65才以上)

638人(42.70%)

## 高浜八幡宮改修工事寄付

高瀬	玲子様
大木	暢夫様
町村	良之様
高尾	安夫様
松原	一広様
山下	範子様
峰	敏治様
川原	武夫様
丸野	憲昌様

(一般寄付)

松江	勝弥様	白木
(見舞い返し)		
松江	良博様	内野

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

温かい善意のご寄付  
ありがとうございます

## ノーベル賞の 白川氏が高浜へ

ノーベル化学賞を2000年に受賞された、白川秀樹筑波大学名誉教授が、10月22日に天草を訪問されました。

上田家を訪れて、田中光徳課長の案内で焼物の歴史・屋敷の建造物に関心を持たれて、説明も熱心に興味深く聴いておられました。



## 高浜歴史散策会

12月5日(土)、平成21年度高浜公民館文化振興事業として、歴史散策会が開催されました。当初は散策の予定でしたが当日は雨天の為、高浜公民館に場所を移して開講され、本渡まちづくり協議会の



方も出席されました。

今回は講師に松本教夫先生をお迎えして、与謝野鉄幹(寛)・晶子夫妻が昭和7年高浜訪問の出来事や、その時に詠まれた歌を紹介。鉄幹は明治40年の五足靴以来、25年振りとなる高浜への訪問でした。

また、高浜八幡宮の絵馬に刻まれている、文政元年(1818年)頃に詠まれた高浜村の庄屋さん達の歌を紹介されました。受講された皆さんは、高浜の地名を詠まれた歌を分かりやすく解説され、とても興味深く聞き入っていました。

## 寄稿

## 師走

つづらぬき みひろ  
葛籠貫 美陽

先日兄からメールが届いた。「もうすぐお坊さんが走る時期になります。美陽も忙しくなるでしょうが風邪引かないでね。お正月に会えるの楽しみにしています。」普段は電話先にも出てこない人が珍しいと驚きながらも嬉しくて何度も携帯を開いて見返した。

十二月に入ると別に忙しくないのになぜか気持ちばかりが焦る。「別に新年だからといって何も変わらないの。」と言うと方丈から「人には気持ちの区切りが必要なんだよ。今年大変な事やつらい事があっても来年はきつといい一年を過ごせるようにと気持ちをリセットして頑張るんだよ。」と諭されてしまった。

年末になると高浜の町に人や車が増える。お正月に家族と過ごすため故郷へ帰ってきたのだと思うとそれだけで気持ちが和む。

今年の除夜の鐘を撞く時にはこの一年の感謝と、来年の穏やかな一年であるようにと祈りを込めて手を合わせたい。

## 今後の予定

1月3日(日)	天草町成人式
1月7日(木)	おね火
1月10日(日)	天草市出初式

## 編集後記

今年もいよいよ終盤戦!! 師走に入り残すところわずかとなりました。朝夕の冷え込みも日に増して来るこの頃です。

先日、お寺の前を通った時「無事で何より」ということについて書かれた掲示板を見ました。それは、何事も無くて良かったと言う事ではなく、何もしなくていい、そのままのあなたでいいと。つまりは、「ありのままの優しいあなたでいいんだよ」(自己解釈しました)と言うことについて書かれていました。

今年も残りわずかですが、一年の締めくくりが「無事で何より」でありますように。そして来る年がすばらしい正月でありますように。

